

# [宝城坊収蔵庫]見学レポート

伊勢原駅前にある「大山阿夫利神社」の鳥居



伊勢原駅前からバスに乗り、日向薬師バス停で降りる

## 関東ふれあいの道

関東ふれあいの道は、一都六県を巡る自然歩道です。沿線の豊かな自然にふれ名所や史跡をたずねながら、ふる里を見直してみませんか。

この地点は、県内17コースのうち「順礼峠のみち」・「大山参り蓑毛のみち」並びに「太田道灌・日向薬師のみち」の分岐点です。

みどころは、白山・順礼峠・日向薬師・日向溪谷・二重の滝・阿夫利神社・太田道灌の墓・三ノ宮比々多神社など見所が沢山あります。



### ⑩ 大山参り蓑毛のみち 全長 L = 8.7 km

伊勢原駅前バス停 → 蓑毛バス停 (1.7km) → 蓑毛越え (1.2km) → 阿夫利神社 (1.5km) → 見晴台 (1.3km) → 日向ふれあいセンター (2.2km) → 学習センター (1.1km) → 浄光観音寺 (0.9km) → 日向薬師バス停 (現在地)

### ⑪ 順礼峠のみち 全長 L = 8.8 km

伊勢原駅前バス停 → 日向薬師バス停 (現在地) (0.8km) → 日向薬師 (0.7km) → 七沢神社 (1.2km) → 順礼峠 (1.4km) → 物見峠 (2.3km) → むしな坂 (1.1km) → 御門橋バス停 (小田原市)

### ⑩ 太田道灌・日向薬師のみち 全長 L = 8.5 km

伊勢原駅前バス停 → 鶴巻温泉駅 (1.6km) → 坪ノ内バス停 (2.3km) → 三ノ宮比々多神社 (1.7km) → 上粕屋神社 (0.7km) → 太田道灌の墓 (0.5km) → 鎌塚 (0.3km) → 日向薬師バス停 (現在地)

環境省・神奈川県  
自然環境保全センター自然保護公園部自然公園課  
(046) 248-0323

ここが日向薬師(宝城坊)入口



# 日向薬師案内図





ここからかなりの登り道となる





宝殿(宝物殿)が目指す「收藏庫」







前方は仁王門







更にキツイ上り坂となる





前方は薬師堂(本堂)/大修理のため工事中であった







工事中の本堂の左手に進む



収蔵庫(宝物殿)

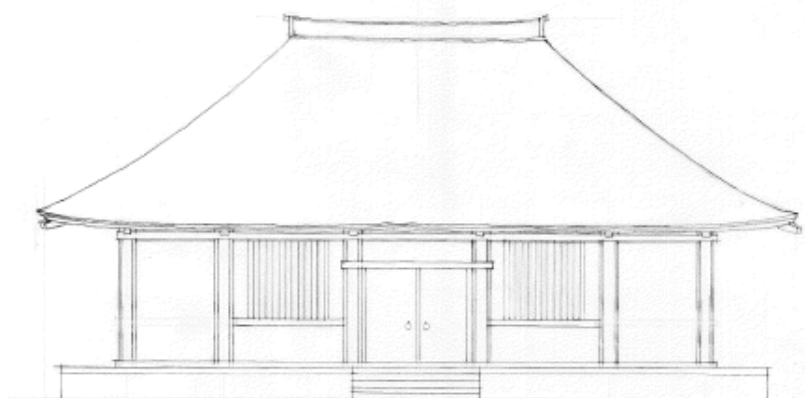








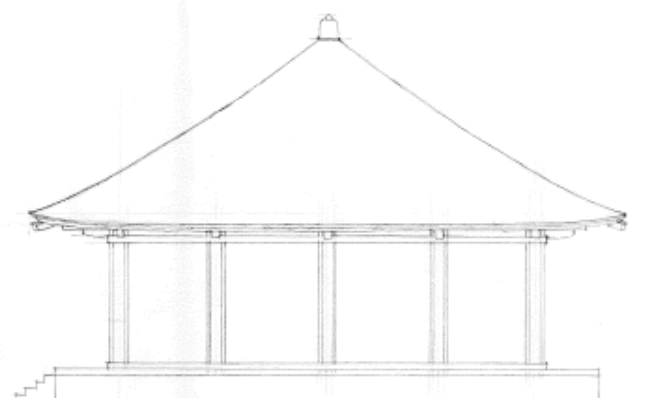
大岡先生の素案



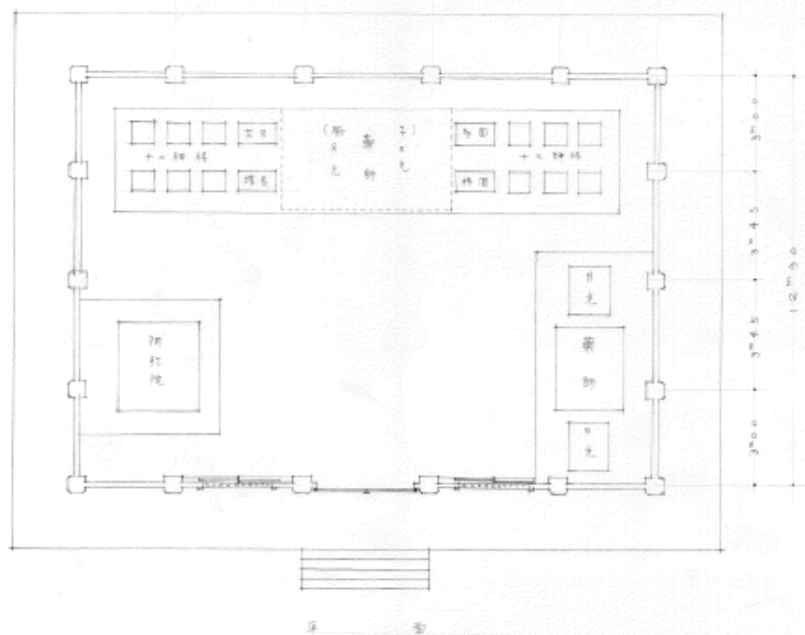
正面

18'00"

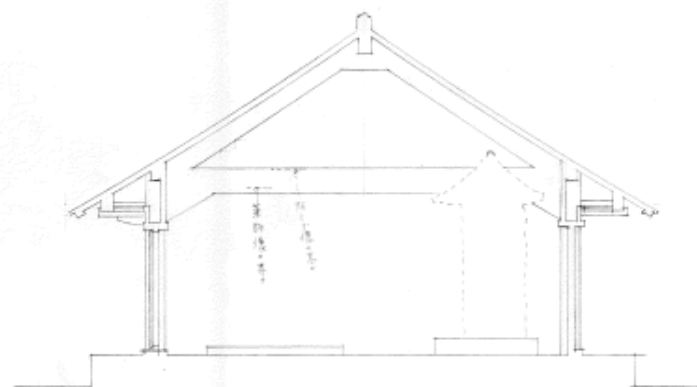
3'00" 4'00" 4'00" 4'00" 3'00"



側面



平面



断面

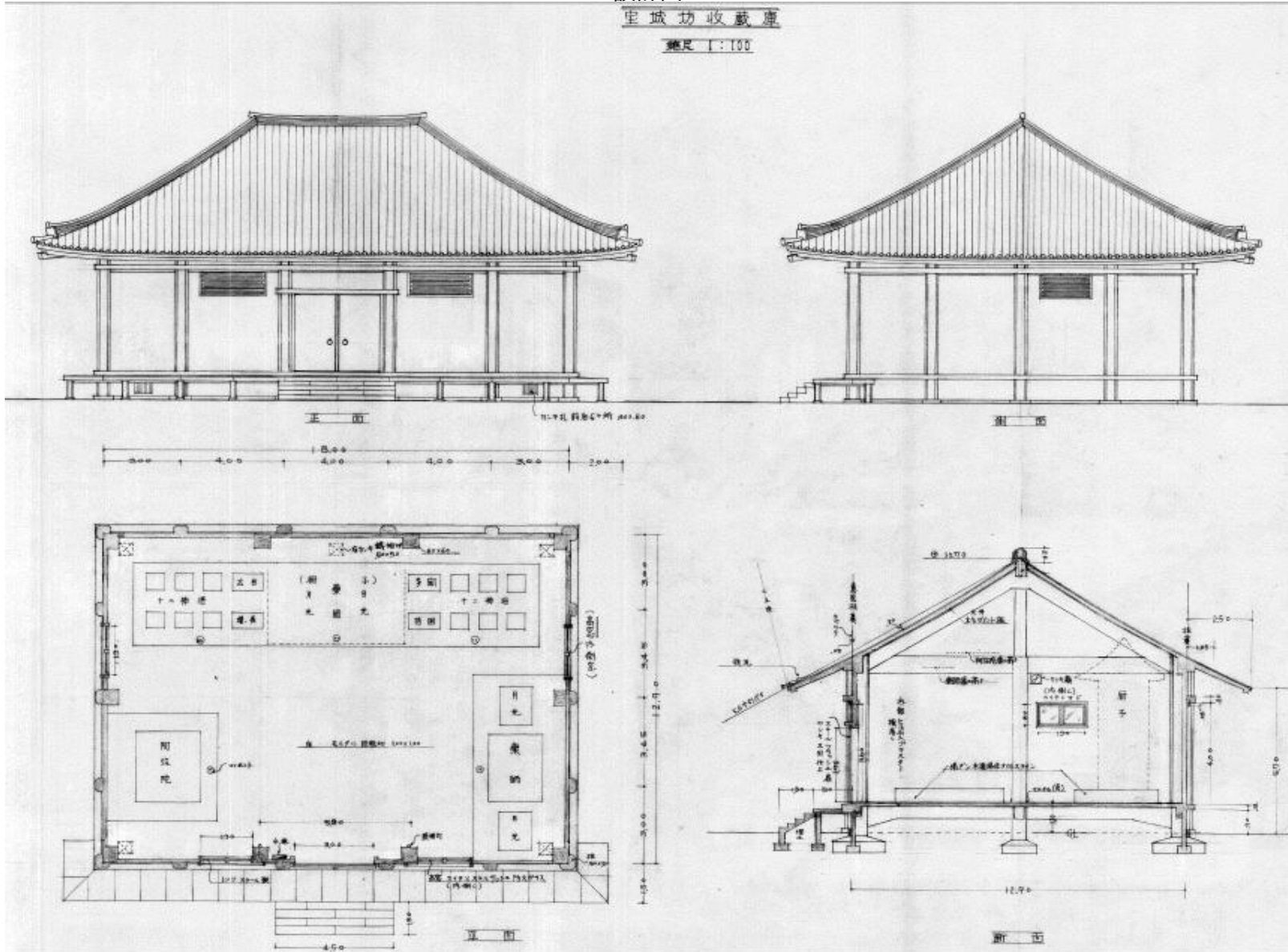
面積 18'0" × 12'00" = 21.32<sup>m</sup> = 70.06<sup>m</sup>²

宝城坊收藏庫 S: 1/100. 8X-39-4-19

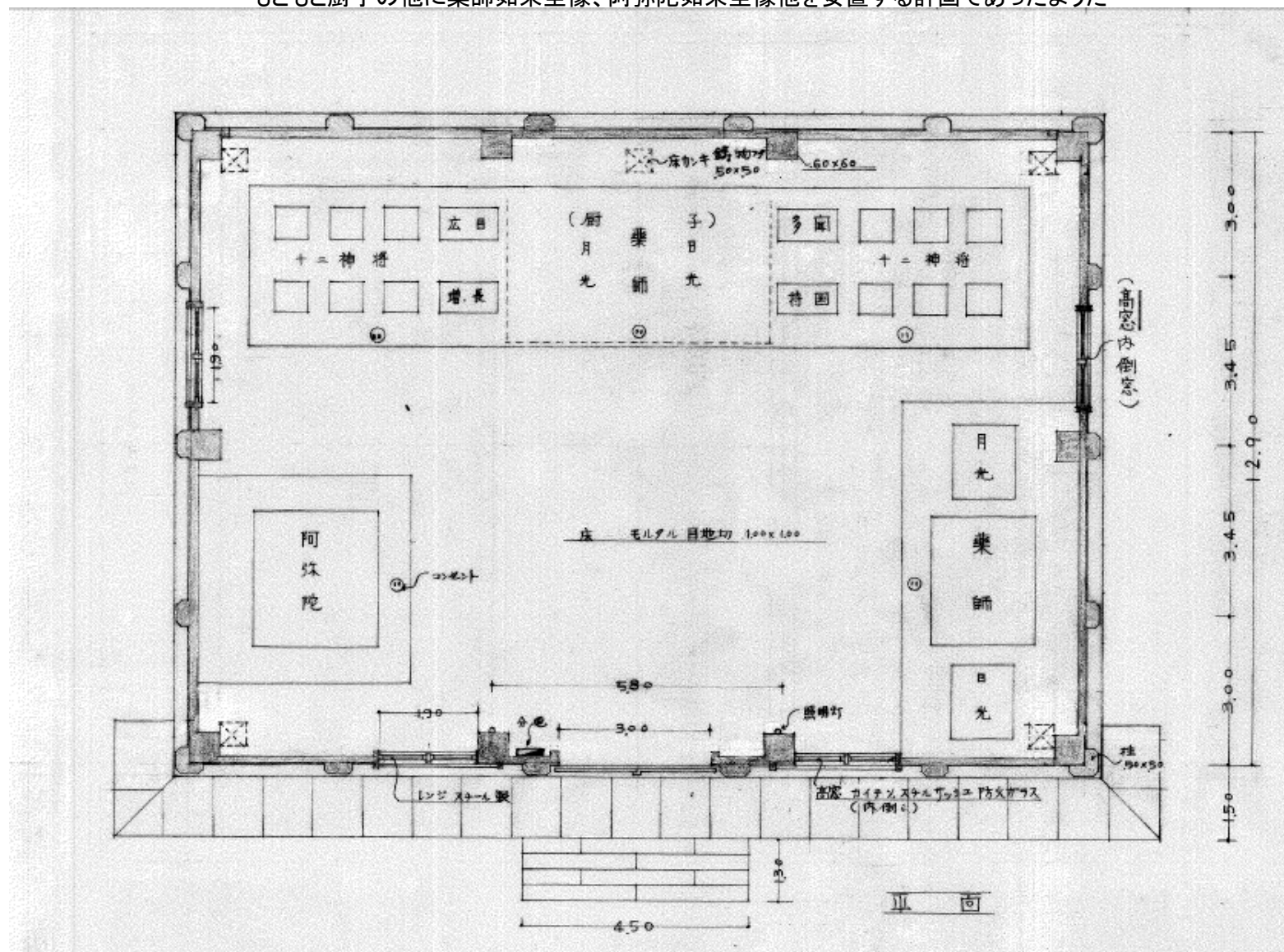
設計図

宝蔵功收藏庫

縮尺 1:100



もともと厨子の他に薬師如来坐像、阿弥陀如来坐像他を安置する計画であったようだ





この高欄は図面には無い





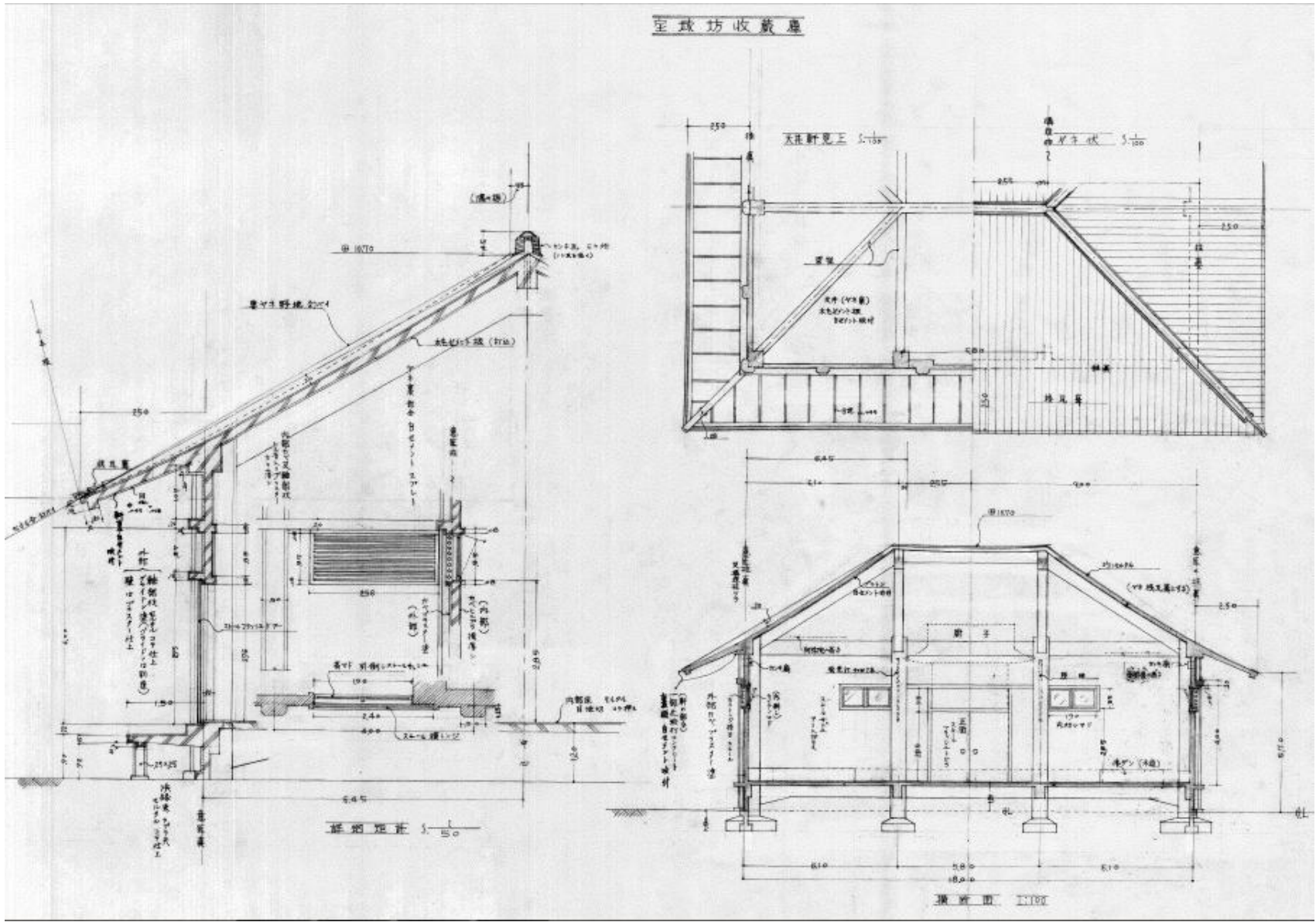








宝珠坊收藏庫



# 日向薬師

## 宝城坊の解説



法要日 / 大法会 4月15日

本尊開扉日 / 1月1・2・3日・8日初薬師・4月15日

所在地 / 神奈川県伊勢原市日向1644

交通 / 小田急線 伊勢原駅より日向薬師行バス  
終点 徒歩10分



# 日向薬師

この寺は元正天皇の霊亀二年(西七二六)二月行基菩薩が開創したと伝えられ、霊山寺と呼ばれておりました。後に宝城坊と呼ばれるようになりました。今では日向薬師と略称され、世に広く知られ親しまれています。本尊は行基菩薩が四十二才のとき一刀三礼のもとに彫り安置されました薬師如来であります。

開創以来歴代天皇の御帰依深く元正天皇は、詔して堂宇を造営なされ勅願寺とされました。天歴六年(西九五二)二月村上天皇は口經二尺一寸梵鐘を寄進なされ、後一条天皇(六十六代)は勅額を下賜されました。近衛天皇(七十六代)は仁平三年(西一一五三)二月五日院宣を以て口經二尺五寸の梵鐘に改鑄され、光明天皇は暦応三年十二月五日大和権守物部光連に命じて口經二尺六寸の梵鐘を鑄造させ現存しています。後円融天皇(一一〇〇代)には康暦二年九月三河運江両国の棟別銭を以て堂宇を修造するようおことばを給りました。

鎌倉期にはいつては將軍頼朝自ら参詣し、室政子に至つては数回参詣しています。即ち建久三年(西一一九二)政子安産祈願のため、建久五年(西一一九五)頼朝参詣建暦元年(西一二一一)には政子並に実朝室参詣、貞治三年には鎌倉管領足利基氏錦織を献納し小田原北条氏は六十貫三百文の地を寄進しました。徳川家より六十石寄進の朱印を賜うなどのことがありました。現在の堂宇は万治三年(西一六六〇)徳川氏の助力を得て再建、元禄二年(西一六八八)大修補し、其の後延享二年(西一七四四)修理を加えて今日に至っています。

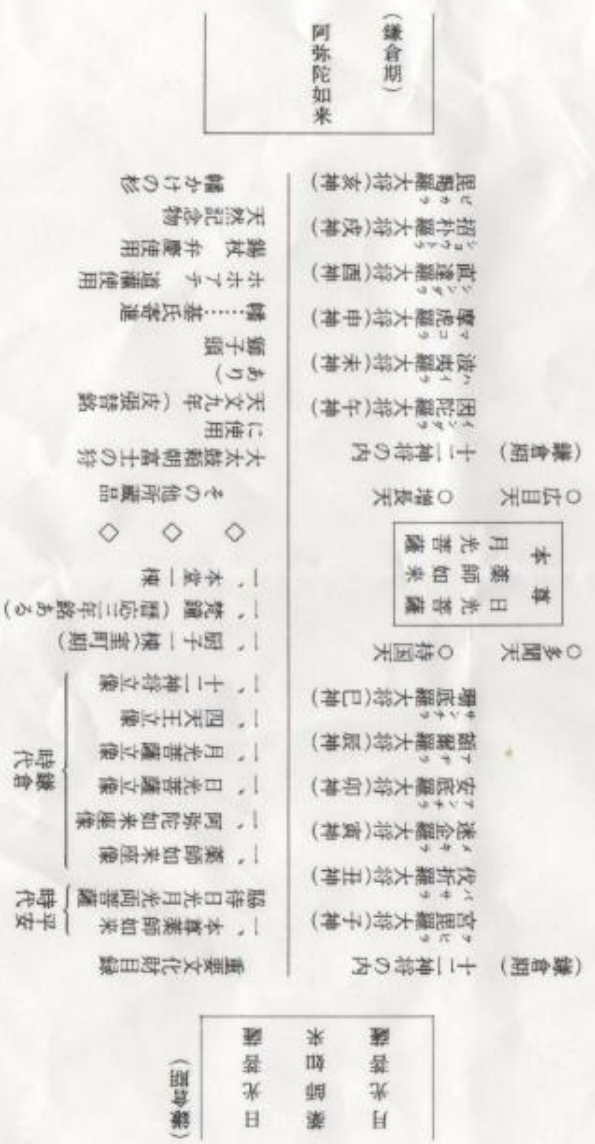
本尊の開扉は十二年に一度「トラ年」に開く習を以ていますが、今日では正月三ヶ日、初薬師一月八日、四月十五日大法会には開扉して拝観していただいております。

## 薬師如来の功德

お薬師さまとは、一名瑠璃光如来ともいい、浄土は東方浄瑠璃浄土で、この浄土の教主です。薬師如来は、また大医王仏ともいわれ、除病延寿、衣食満足等の十二の誓願を持ち衆生の病患を救い、光を放つた眼に天来の光を授け、法薬を与えるなど、諸悪病を除くばかりか、除産苦、求子、返呪咀等の七難を除去してください等、現実的な利益を信者にお与えになる仏さまです。薬師さまの浄土には多くの菩薩が住み、如来について法を学んでいるが、日光、月光、両菩薩が上首に位し、如来の両脇にお立ちになっています。また薬師さまには眷属として十二神将がつき随つていらつしやいます。薬師如来の十二の本願を護持するとともに、この如来の信仰者を守護してくださる薬叉神です。四天王は仏教における四方鎮護の天で、国土の四方を守護します。本尊の薬師如来は錠影と呼ばれる手法で関東地方を中心にまつられています。素朴な感じを受けますが、すばらしい姿をしておられます。

大江公資の妻相模が詠じた歌  
 さして来し、日向の山を頼む身は、目も明らかに見えざらめやは (相模集)

## 宝物殿仏像安置の図



年月	西暦	工事名	所在地	工事期間	助手	構造設計	施工	構造種別
昭和40.03	1965	宝城坊 収蔵庫	神奈川県 伊勢原市	昭和40.03~41.02	松浦弘二	松本暁	安田工務店	RC造

